



開校40周年 ～時代を超えて“思い”のバトンを繋ぐ～ つな 校長 猪瀬 政幸

10月31日に開校40周年記念式典が挙行されました。重要な儀式をコロナ禍で無事に終えた安堵、それすら忘れさせるような感動と感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

40年間を振り返るスライド映像からは、当時の生徒たちの真剣な顔、屈託のない笑顔が次々と映し出され、その時々にごった思いは40年経っても決して色あせてはいませんでした。その時代の生徒たちの表情を見ていると、本当に四中は生徒たちが生き生きと過ごしてきた学校なんだと感じとることができました。そしてまた、学校は「どのようなことをどんな方法でやったか」ということより、「その時、その瞬間を生徒はどう感じたのか」「そのことで何を学んだのか」ということの方が大事であると、改めて認識しました。スライド映像の編集に携わった卒業生の言葉にも、四中への思いがひしひしと伝わりました。

それに続く前生徒会役員が行った新制服披露の寸劇では、四中らしい「笑い」がふんだんに織り込まれ、会場全体を楽しい雰囲気してくれました。そして、最後の代表生徒の言葉で、3年生としての決意、下級生に向けたメッセージが力強く届けられました。

40周年という節目の年を、この素敵な四中生たちと一緒に、四中の校長として迎えられたことに改めて感謝しています。この先も様々な苦難があると思いますが、四中生、そして教職員とともに乗り越え、四中生たちの“笑顔”をたくさんアルバムに残せるように努力していきたいと思います。

「開校40周年記念式典 学校長式辞」 ※一部抜粋

本校は、昭和五十五年に狛江市立狛江第一中学校から分離独立して、全校生徒495名、教職員26名で開校いたしました。そして、第一期卒業生は149名、これまで4655名の卒業生が巣立っています。

開校以来、築き上げてきた伝統の一つに「先輩の背中を見て後輩が育つ」という言葉があります。上級生が学校行事や部活動などで活躍する姿や、いつも丁寧に粘り強く教えてくれるやさしさに触れることで、下級生は次第に「自分も先輩のようにになりたい」と思うようになるのです。時代の流れとともに、様々なことが変わっていきますが、この伝統は四十年たった今でも脈々と引き継がれています。

先日も、そのことを改めて強く感じる出来事がありました。コロナ禍で様々な行事が中止となり、生徒たちが活躍する場や、クラスの仲間、先輩後輩との絆を深めていく時間が奪われていきました。そんな中で行われた全校合同体育。今年初めて全校生徒が一堂に会する取り組みです。

先生たちの心配をよそに、生徒の皆さんは皆、競技に真剣に取り組む、そして楽しむときは思い切り楽しむ。そんな四中生らしさを随所で見せてくれました。縦割りの練習はしていないのに、一年生は自然と先輩たちの活躍に拍手や声援を送り、見よう見まねで一緒にその場を盛りあげていました。この日は、久しぶりに笑顔と感動があふれる時間をみんなで共有することができました。

一方で、この困難な状況に何人もの卒業生が力を貸してくれていました。プロダンサーとしての仕事の合間に、振付や実技指導をしに来てくれた卒業生。音楽活動をする傍ら、この日のためにオリジナル曲を作詞作曲してくれた卒業生。その曲の中には、四中の校歌の歌詞も引用されています。協力してくれた卒業生たちは皆、ロマに「後輩たちの役に立てて嬉しいです。何かあったらいつでも呼んでください」と笑顔で言ってくれました。

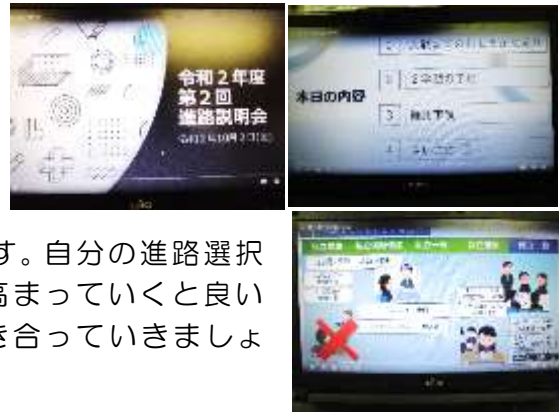
コロナの影響で失ったものも多いですが、コロナのおかげで得たもの、改めて気づかされたこともたくさんあります。四中生は、コロナや、これから訪れる困難になんか負けません。それは、今ここにいる仲間、四中を愛してやまない卒業生、そして、保護者や地域の皆様の力強い支えがあるからです。

生徒の皆さんは、これからも互いに助け合い、感謝し合うことの大切さを学び続けてください。多くの人に笑顔を与えてください。

そして、この狛江第四中学校の生徒であることに誇りをもち、一人一人が地域を支える自立した市民として成長してくれることを願っています。

第2回進路説明会を動画配信で実施しました

10月2日(金)、第2回進路説明会をオンラインで行いました。今回も第1回と同様、新型コロナ感染拡大防止の観点から、動画配信で①入試までの大まかな流れ②2学期の予定③様々な確認事項について④今後の注意点について説明を行いました。コロナ禍の影響を受けて入試についていくつかの変更点があり、現在分かっているものについては動画の中でも触れています。自分の進路選択のために、こういった情報にも敏感になるよう意識が高まっていくと良いですね。じっくり自分自身について考えて、進路と向き合ってください。(学習進路指導主任 本田裕毅)



全校合同体育を行いました

10月27日(火)に延期となった合同体育を行いました。午後の2時間の短い時間でしたが、今年度初めて全校が揃った取り組みとなり、生徒たちの元気で明るい笑顔がいっぱい見られました。学年種目では各学年とも短い練習時間でしたが、大いに盛り上がり四中らしさが溢れました。全員リレーでは各学年白熱した戦いとなり、熱狂するレースを繰り広げました。最後の全校ダンスは作曲や振り付け、練習まで卒業生の力を借りて作り上げたダンスです。在校生は先輩たちに感謝の気持ちを込めて元気に踊ることができました。ご協力いただいた関係者の皆様ありがとうございました。(保健体育科 栗城隆司)



40周年記念式典を行いました

今年本校は、開校40周年を迎えました。多くの卒業生や地域・保護者の方々が四中を築いてこられ現在の四中があります。その感謝の気持ちを多くの人に伝え、在校生とともに新たな出発を誓う場として、コロナ禍ですが記念式典をどのように実施できるか検討してまいりました。同窓会や地域・保護者の皆様のご理解とご協力を得まして、10月31日(土)に無事実施することが出来ました。式典実施にあたりご支援いただいたすべての皆様に感謝いたします。



教育実習生が来ました

10月19日～31日まで、教育実習生が2名来ました。生徒と一緒に勉強し、先生としての基礎を学びました。



理科 大城健輔さん(1A)
数学科 中村悠太さん(2A)

たくさんの募金ありがとうございました

生徒会役員が10月19日～22日まで「緑の募金」活動を行いました。朝の登校時間の20分程正門で募金の呼びかけをしました。生徒、教職員からたくさんの協力をいただきました。このお金は、今後の森林整備と緑化推進に活用されます。



11月～12月始めの主な行事

- 4 薬物乱用防止講演会
- 7 土曜授業、地域防災体験
- 16 期末考査(~18)
- 27 主権者教育講演会
- 12/3 三者面談始(3)
- 4 三者面談始(1,2)
- 10 三者面談終(全)
- 11 狛江探検(1)

四中生頑張っています

第70回全国小・中学校作文コンクール(中学校の部)
優秀賞 1B 神谷 修慈 君
(バナナの木ーもうひとつの『戦後』ー)